

# 名家連ニュース

平成 23 年 4 月 24 日 (日)  
発行：名古屋市精神障害者家族会連合会  
会長 堀場 洋二  
TEL (052) 411-2890 FAX (052) 411-7283  
No. 139 号

## 「NPO法人設立記念のつどい」開催

第 1 部の記念式典で名古屋市健康福祉局障害福祉部長（西山麻由美様）名古屋市議会議員（斎藤亮人様）名古屋市身体障害者福祉連合会会長（浅野義勇様）名古屋手をつなぐ育成会理事長（仁木雅子様）から心温まるご挨拶を頂きました。

愛知県立大学精神看護学助教（中戸川早苗様）愛知県精神障害者家族会連合会会長（木全義治様）障害福祉部障害企画課主幹（平松修様）関係長（高倉敦様）にもご臨席いただき「法人設立の門出」を祝って頂きました。



「みんなで歩けば道になる」一家族会運動の新たな発展を確認し合いました

## — 川崎理事長名古屋講演 — 家族、当事者、医療・福祉の支援者など130名参加

第 2 部記念講演で川崎洋子理事長（公益社団法人全国精神保健福祉会）は

(1) 東日本大震災について①被災地の家族会や精神障害者など障害者の状況②個人情報保護法の制約緩和など会（震災対策本部）や日本障害フォーラム（JDF）の国や現地自治体への働きかけなどを紹介し一刻も早い被災者支援に共に手を携えていこうと訴えました。

(2) 基本法改正について①4月22日の閣議決定（政府案）の問題点②国会審議で第2次意見を反映させる努力

(3) 総合福祉部会（医療部会）について①地域医療（往診）、多職種チーム（訪問）の必要性②保護者制度の廃止と医療保護入院（自己決定権の尊重—強制的、非自発的入院の解決策）

(4) 差別禁止部会について①「学校」と「病院」における差別が入っていない②各党も検討している—など現状と今後の方向性について講演しました。

また、(2) (3) (4) では①地域での見守り②隠さない生き方③離れて暮らす大切さについて自らの生活体験を紹介され、講演後の質問もこの点に関心が集まりました。



講演には家族、当事者、医療・福祉関係者約130名の方々が参加しました。

**参加者の一言** ●被災地の状況が聴けてよかった●話の内容が分かりやすかった  
●気さくな感じで親しみが持てた●NPOでグループホームやったら？  
●署名、もっとやらないかなぁ●よう身体がもつなあ～ 倒れんようにしてちょうよ